令和5年度作成

テーマ「心豊かにたくましく つながり学ぶ多賀の子」

アプローチカリキュラム(1・2・3月)

スタートカリキュラム(4月~)

活動(園や環境によって違いがある) めあて 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿) 活動 めあて ■興味や関心をもって活動する 豊かな感性と表現 ・感じたことや思い巡らしたことを自分で表現したり、友達同 〇内容を捉えながら読む。 文字のまとまりを意識して読む。 〇生活や遊びをとおして気づいたり知ったりしたことを遊びの ごっこ遊び。 知 おはなし遊び。 士で表現する過程を楽しんだりするようになる。 ○読み聞かせを、想像を膨らませ楽しみながら聞く。 図工「すきなものなあに」 中に取り入れ経験を広げる。 ○経験したことや気づいたこと、好きなことなどを話す。 ・「学校探検で見つけたよ」 ○身近な「人・こと・もの・自然」への関心が高まり、様々なも 表現遊び。 *考え、-学習を鍛 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 季節の歌をうたう。 ののおもしろさ、不思議さ、美しさに感動する。 生活、遊びの振り返り活動。 ・数量などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付 〇数に興味を持ち、順番や物の数を、数字を使って表す。 数字と数の1対1対応 〇遊びや生活をとおして、数えたり、比べたり、組み合わせた 作って遊ぶ。 いたりして、数量・図形、文字への関心・感覚が高まるよう 〇文字に興味を持ち、ひらがなで言葉や簡単な文を書く。 具体物や半具体物の活用 りしながら、物の数量や長短、広さや深さ、速さ、図形に関 追話え 心をもつ。 構成遊び。 になる。 ・書字指導 ・生活科の観察カード 究しる 砂遊び、泥団子作り、色水遊び。 ・鉛筆ホルダーの使用 ・名前をひらがなで書く。 〇栽培活動を通して、成長や収穫の喜びを味わう。 す合 自然との関わり・生命尊重 ・自然物を使った遊び。 ○身近な生き物との関わりの中で命の大切さに気づく。 るい確 一人一鉢栽培。 ・自然に触れて感動する体験を通して、身近な事象への関心が 〇自然に興味を持ち、自然との関わりを楽しむ。 ・裏山遊び ・水遊び を通な ・クッキング。 高まったり、自然への愛情や畏敬の念を持ったりするように アサガオの観察春みつけ 飼育活動。 なる。 栽培活動 ・飼育活動(昆虫等) てカ ■伝え合う楽しさを味わう 深に 思考力の芽生え お休み調べ。 〇自分が経験したこと、思ったこと等を自分の言葉で表現し、 いつ ・たしざん ・ひきざん 文字に親しむ。 ・思いを巡らし予想したり、工夫したりするなど多様な関わり ○答えを予想」、 ブロックなどを使って、計算の仕方を考える。 ・しらべよう 伝え合う。 · 学びが (お手紙ごっこ、郵便屋さんごっこ、カ を楽しみ、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分 〇めあてや学習の流れを意識して授業を受ける。 〇絵本や図鑑などを手に取り見たり読んだり、読み聞かせを楽 ルタ、トランプ、絵合わせカード、す の考えをよりよいものにするようになる。 ・聞く時は、体の向きを変えて聞く。 のある しんだり、生活の中で文字に親しんだりする。 ごろく、ボードゲーム等) ・「上手な聞き方」掲示物の活用 ○話を聴いてもらう喜びを感じ人の話も聞こうとする。 ・おはなし会に絵本や物語に親しむ。 言葉による伝え合い 〇話す人を見て最後まで聞く。 話し方のモデルに則して話す。 活動 ・「いま、どんなきもち?」カードを用 ・言葉を通して先生や友だちと心を通わせ、豊かな言葉や表現 〇自分の思いを話す。 ・「上手な話し方」掲示物の活用(低・中・高) いての振り返り活動。 を身に付けるとともに、思い巡らしたことなどを言葉で表現 〇考えや気持ちを伝え合う。 ペアやグループでの話し合い活動 • 園外活動 して楽しむようになる。 ○自分の思いを伝えながら相手の気持ちを考える。 ・ペア、グループ学習 ・絵日記・日直スピーチ ■思いやりの心をもって人と関わる 道徳性・規範意識の芽生え あいさつをする。 ・してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動 〇あいさつを自分から言う。 道徳科の学習 ○様々な人との関わりの中で自分が大切にされているこ 徳 するとともに、自分の気持ちを調整し、友だちと折り合いを 〇みんなで使う場所や物を大切にする。 ・あいさつの仕方 ・トイレの使い方 ・約束のある遊び。 とを感じる。 (鬼ごっこ、ドッチボール、サッカー、 付けながら、決まりを作ったり守ったりするようになる。 Oきまりや約束を守る。 授業では「です」「ます」を使って話す。 ○自分が大切にされていることがわかり、友だちも大切にしよ 思 * 【心 フルーツバスケット、いすとりゲー ○場や相手に応じた言葉遣いで話す。 ・プリントの渡し方 うとする。 ム等) 〇命の大切さに気づき、愛情を持って育てる。 多賀小「みんなのくらしのやくそく」 ○自分たちの生活や遊びをよりよくするために、どうしたらよ やりの心、 さつ・つ 鍛える】 ふれあい遊び、わらべうた遊び。 いかを考えて、友だちと助け合う。 行事に参加する。 ○友だちとの関わりの中で、善いことや悪いことを判断し、生 ・互いの思いや考えなどを共有し、工夫したり、協力したりす 〇仲間と相談したり分担したりして活動する。 • 当番活動、係活動、掃除 当番活動。 活に生かす。 る充実感を味わいながらやり遂げるようになる。 〇みんなのためにする活動を楽しみながらする。 ・全校たてわり活動、2年生や年長児との交流 わくわくタイム。 ○約束や時間を守ることを意識して主体的に行動する。 ・祖父母ふれあい活動。 ペアやグループでの話し合い活動 〇共通の目的に向かって取り組むときは、協力し合い、やり遂 異年齢児との関わり。 るない げた達成感や充実感を味わう。 な 地域の人たちとの交流。 社会生活との関わり ○様々な人とのふれあいのなかで自分が役に立つ喜びを感じて 幼小交流。 家族を大切にしようとする気持ちをもったり、自分が役に立 〇仲よく、思いやりを持って行動する。 学校探検・体を動かして歌あそび 行動する。 つ喜びを感じ、地域に一層の親しみをもったりするようにな 〇みんなで楽しくするよさに気づく。 ・日直や当番活動 • 園外活動 ○困難なことにもぶつかったときに助けを求めたり、立ち上が くなが る。 〇仕事に進んで取り組む。 ・地域の人への感謝の気持ち ったりすることができる。 ○学級活動などでの話し合いで、よりよい生活をつくり出す。 あいさつ・あくしゅ大作戦 を構築する基礎 ○多賀のまち、学校のよさを知り、好きになる。 「友だちの名前を知ろう」 ・「大滝小祭りをしよう」「あきのおもちゃ祭りを しよう」 て る 休み時間の全員遊び ■心身ともに元気に生活する 健康な心と体 ○様々な動きを経験し、楽しく運動する。 マラソン、鉄棒、雲梯、縄跳び、平均 体育科の運動遊び、業間の運動遊び ○全身を使って楽しく遊ぶ。 ・充実感や満足感をもって自分のやりたいことに向かって心と 体 O友だちと競い合うなどして、仲よく運動する。 ・マラソン・なわとび 台、サーキット遊び等 体を十分に働かせながら取り組むようになる。 椅子に座って遊ぶ。 〇めあてを持って取り組む。 休み時間の全員遊び 〇あきらめずに最後までやり遂げようとする。 * **【** 心 家 体 (机上あそびなど) ○自分の目標に向かって努力し、できたことを喜び、就学への · 交通安全教室、避難訓練。 身とと鍛 自立心 期待をもつ。 • 健康診断、身体測定。 〇安全に気をつけて行動する。 ・遊具や運動用具の活用と注意 ・自分でしなければならないことを自覚して行い、諦めずにや ○自分の体調の変化に気づく。 〇病気の予防の必要性を知って行動する。 も連え 元気ッズ調べ。 • 集団登下校 り遂げることで満足感や達成感を味わいながら、自信を持っ に携る 手洗い、うがい、はみがき、フッ素洗 〇自分の体調の変化に気づいて知らせる。 手洗い、うがい、はみがき、フッ素洗口 て行動するようになる。 〇安全に必要な基本的な習慣を身につけ、安全に過ごす。 元し ○給食の身支度を整え、友だちと協力して配膳や片付けをする。 ・健康観察で体調を伝える。 П。 ○楽しく食事をし、食事ができることに喜びや感謝の気持ちを 気な体 ・衣服の調節。 〇食事に関するきまりを守り、好き嫌いなく食べる。 給食当番の仕事 なが力 もつ。 時計を見て行動する。 ○健康に過ごすための大切さがわかり身の回りのことを進んで 片付け、掃除をする。 〇授業と休み時間の区別をつけて、学習に集中する。 チャイムの合図で行動する。 を自健 行う。 〇時間内に、自分の持ち物を用意したり片付けたりする。 ・学校生活の流れを捉えさせる。

育立原 る生ながる活が がる

で基礎

- 〇生活リズムを確立し、見通しをもって生活する。
- ○自分たちの遊びや生活の場を自ら準備したり、進んで整えた
- 〇持ち物を大切に扱い、身の回りの整理整頓ができる。
- 持ち物の片付けをする。
- 園外活動

○身の回りの整理整頓をする。

- ・授業中の座り方、立ち方
- 朝の用意、帰りの用意
- 宿題、提出物、連絡帳を出す。